

# 指導死

shidoh-shi symposium

「指導死」シンポジウム 6

## 「指導なければ高3自殺せず」 遺族による第三者委調査報告会

日時：2016年9月17日(土) 13:00~15:40 (開場 12:30)

資料代：500円 (先着60名 事前申し込みをおすすめします)

申込先：4104@2nd-gate.com または fax 03-6804-2926

会場：人権ライブラリー (公益財団法人 人権教育啓発推進センター)

所在地：東京都港区芝大門 2-10-12 KDX 芝大門ビル 4F

主催：「指導死」親の会 (4104@2nd-gate.com)



### 人権ライブラリーへのアクセス

JR 山手線・京浜東北線/  
東京モノレール  
浜松町駅  
(金杉橋口から徒歩 7分)  
都営三田線  
芝公園駅  
(A3 出口から徒歩 3分)  
都営大江戸線・浅草線  
大門駅  
(A3 出口から徒歩 4分)

## 「指導」により、追いつめられて「死」に至る子どもたち

### 「指導」がなければ自殺は起きなかつた と結論づけた第三者委員会

2012年7月、新潟県の県立高校3年生だった男子生徒が、部活の顧問教諭の指導後に自殺した問題で、県教育委員会の第三者委員会は、2016年7月25日、報告書を取りまとめました。報告書は「自殺は教諭の指導がなければ起こらなかった」と結論づけました。さらに、学校側が遺書を恣意的に解釈し、動機を「自責の念」と結論づけていたことを「ずさん」と批判。この結論を遺族にも伝えず「あまりにも自己保身的だった」と批判しました。

### 生徒指導を背景とする 子どもの自殺「指導死」

「指導死」とは、生徒指導を原因・きっかけとした子どもの自殺を意味します。被害遺族を中心とした「指導死」親の会)では、指導死の再発防止のため、文部科学省への対策申し入れやシンポジウムなどの活動を行ってきました。「指導死」の背景となる「指導」は、学校外で行われれば、ハラスメントや虐待など法律に抵触する可能性のある行為を含みます。「いじめ」は、学校教育現場が抱える「病」として一般に認識されていますが、それ

だけでなく、「生徒指導」という「病」もまた存在していたのです。

### 遺族自らが第三者委員会の 調査報告書を解説

今回のシンポジウムでは、新潟県教育委員会の第三者委員会が取りまとめた報告書を遺族自らが紹介。委員会設立までの苦勞、調査委員選定時に直面した困難、報告書開示に関する問題など、当事者でないとは分からない、学校事故・事件が起きた場合の事実解明の難しさ、制度の不備などの厳しい現状を当事者の視点から伝えます。

### 生徒指導を原因・きっかけとした子どもの自殺「指導死」の定義

1. 不適切な言動や暴力行為等を用いた「指導」を、教員から直接受けたり見聞きしたりすることによって、児童生徒が精神的に追い詰められて、死に至ること。
2. 妥当性、教育的配慮を欠く中で、教員から独断的、場当たりの制裁が加えられ、結果として児童生徒が死に至ること。
3. 長時間の身体の拘束や、反省や謝罪、妥当性を欠いたペナルティー等が強要され、それらへの精神的苦痛にたえ切れずに児童生徒が死に至ること。
4. 「暴行罪」や「傷害罪」、児童虐待防止法での「虐待」に相当する教員の行為により、児童生徒が死に至ること。